

話題提供 十勝中部「シーニックバイウェイ」ルート構想の概要

説明：帯広商工会議所 シーニックバイウェイ推進会議
座長 野村 文吾 様

(説明要旨)

「シーニックバイウェイ」とは、国土交通省北海道運輸局が進めている事業であり、意味は景観と寄り道（脇道）である。帯広商工会議所シーニックバイウェイ推進会議は平成17年10月に勉強会をスタートさせ、地域おこしを目的に、手段としてシーニックバイウェイに取り組んでいる。エリア内の交流と活性化により経済効果を目指している。シーニックバイウェイは付帯条件としてルートの指定はあるが、道の駅の関連はない。

名称は仮称であるが、「トカプチ雄大空間」としている。トカプチとはアイヌ語で十勝のことである。現在、十勝には北十勝山麓ルートと南十勝夢街道の2つの候補ルートが存在する。それ以外の1市6町の十勝中部で組織を検討している。十勝中部は中心市街地と高速道路（高規格道路）がある地域をエリアとして想定している。現在、十勝川温泉旅館組合（音更）、まきばの家、ボーヤファーム（池田）、紫竹ガーデン、真鍋庭園、馬文化、北の屋台（帯広）の街おこしグループ等が参加の意向を示していただいている。

これまで国の事業は予算が途絶えたら終わりということがほとんどだったが、シーニックは最初から予算はない。自分達で考え行動する必要がある。忠類のシーニックの場合、独自の取組みが評価され、後から金銭的な支援がなされた。

事業としては、協働イベントの企画・実施、こちらから出向いて情報発信する移動情報センター機能、各施設の情報発信ブースの設置を検討している。また、基本共通コンセプトは「みどり」(素案)、シーニックバイウェイはインターネットと同じで、情報発信のツールであると考えている。地域と地域、組織と組織をつなげるものが道である。この道を活用することにより、地域の活力を高めるため、シーニックというツールを使って鋭意取り組んでいきたいと考えている。